



井納 和樹 さん
名古屋市立大学
経済学部卒業

会計士を目指そうと思った時期 合格までの期間

就職後 5年3ヵ月

1日のスケジュール

0:00		12:00	
1:00		13:00	
2:00		14:00	
3:00	睡眠	15:00	仕事
4:00		16:00	
5:00		17:00	
6:00		18:00	移動(暗記)
7:00	食事・身支度	19:00	食事・風呂
8:00	計算科目	20:00	
9:00	移動(暗記)	21:00	
10:00		22:00	理論科目
11:00	仕事	23:00	
12:00		0:00	睡眠

1日の平均学習時間

入門・基礎期 約6時間 上級期 約6時間

TACのココが良かった！

オンライン質問・相談コーナー

答練の結果や答案を講師に見てもらったことで、答案の書き方はもちろん、解説冊子を読むだけでは気づけなかった自分の理解できていなかった論点について理解を整理することができました。また、勉強の方針が間違っていないかを確認することができたのも合格できた要因だと思っています。今年になってから利用し始めたので、なぜ今まで利用しなかったのだろうと思いました。

講師に答案を見せ、書き方や理解不足の論点を整理し、方針を確認できたのが合格の要因

公認会計士を目指したきっかけ



大学在学中に簿記の勉強をし始めた際に、会計の最高峰の国家資格が公認会計士であることを知ったことがきっかけです。

そこから様々な働き方ができる公認会計士という資格のステータスの高さに魅力を感じ、目指しました。

TACを選んだ理由



大学の先輩がTACを利用しており、過去の公認会計士試験合格者の多くがTACを利用していたという事実があったためです。

また、自習室でないと勉強に集中できないと思っていたため、自宅の近くにTACがあったこともTACを選んだ理由の一つです。継続的にTACを選んだ理由はやはりベテラン講師の安心感があったからです。

具体的な学習法



私は仕事をしながらの受験勉強だったため、規則正しい生活を心がけて、早起きして計算科目をし、暗記科目は昼食等のスキマ時間に勉強するようにしていました。就寝前は論証暗記や講義を聴くなどして夜更かしをしないよう自然に眠れる環境をつくるようにしていました。監査法人に勤めているので、仕事先で試験勉強の話などでコミュニケーションを取ることがいい気分転換になりました。

また、趣味にしていたランニングをするときは一度勉強が頭から離れて頭がスッキリした状態で勉強を再開できたのもよかったですと感じました。週末はまとまった時間が取れるので、答練に取り組んでいました。また、長時間勉強に取り組むことになるので、ポモドーロタイマーを活用し、理論科目が続いた後は計算科目をしてメリハリをつけるようにしていました。

【社会人】とにかく勉強時間の確保が大変なので、勉強のルーティン化やスキマ時間の活用を意識しました。朝は早起きして簿記等の計算科目をしていました。その際は基本的にアクセス答練を活用して時間を区切った勉強をすることでメリハリをつけていました。仕事の移動や昼食時については、短答前ならTAC Web Schoolの短答問題集を利用してスキマ時間を大事にしました。夜は主に理論科目の暗記やテキストの読み込みを行っていましたが、どうしても眠くなったときは短答の計算科目を数問やるようにしていました。休日しかまとまった時間が取れないので、論文答練をライブで受験することができず休日にまとめて受験することとなるので、週末の答練に向けて平日に出題範囲の予習をするという習慣付けを意識しました。

常に優先順位を意識して勉強していましたが、直前期に手を付けられない教材が出てきてしまう場合にはTACの講師に相談して取捨選択をしました。

公認会計士を目指す方へのメッセージ



論文試験を三振した凡人の私でも、微かな合格の可能性を信じて勉強を続けたら、三振直後の5月短答合格、論文合格を勝ち取ることができたので、勉強は辛いとは思いますが、TACの教材と講師を信じて勉強し続けてください。答練の成績が上がればモチベーションになり、合格可能性が上がると思います。TACのカリキュラムに従って勉強し続けることが大切だと思いますし、社会人の場合はできるだけカリキュラムに遅れないような計画を立てて実行することが大切だと思います。